

平成31年度
事業計画書

社会福祉法人
大網白里市社会福祉協議会

平成31年度事業計画

I 基本方針

現在わが国では、少子高齢化を背景とした単身世帯の増加による社会的孤立、社会的弱者に対する虐待等の権利侵害、貧困の世代間連鎖等、現状の福祉制度の枠組みだけでは対応しきれない課題が山積しています。

本会においては、地域のあらゆる住民の皆様が支えあいながら自分らしく活躍できる地域コミュニティを育成し、公的な福祉サービスと協働して助けあいながら暮らすことのできる“我が事”“丸ごと”の地域づくりの推進に取り組んでまいります。

「第5次大網白里市地域福祉活動計画ーこすもすプランー」も計画期間2年目を迎えます。社会福祉協議会五支部の福祉協力員をはじめとした地域の皆様、行政、様々な機関、団体等と連携・協働してその推進に努めながら、適切な進行管理を行ってまいります。

また、改正社会福祉法を踏まえた組織運営の透明性・信頼性を確保しつつ、厳しい法人の財務状況改善に向け、事務経費削減はもとより会員制度の推進、赤い羽根共同募金運動等により自主財源を確保し、かつ、公共性の高い事業を委託することにより事業費の確保に努めます。

福祉会館（地域福祉センター・福祉作業所）及び老人福祉センターの指定管理につきましては、今年度も指定管理者として引き続き住民の皆様の利用向上に努めてまいります。

より充実した地域福祉活動の展開を目指し、地域に住むすべての人・団体が協働し、「ふれあい 支えあい 助けあい が広がる “あい” にあふれるまち ～踏み出す一歩が 地域をかえる～」という基本理念を具現化するため、次の事業を実施します。

Ⅱ 実施事業

1 広報・啓発活動の充実

- (1) ホームページによる情報提供
- (2) 社協だよりの発行
- (3) 住民への社会福祉協議会PR及び地域福祉の周知活動

2 相談支援体制の充実

- (1) 総合相談所の充実

3 福祉理解の促進

- (1) 福祉教育の推進
- (2) 会員加入の促進
- (3) 赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい運動の推進

4 市民と行政、団体との協働の推進

- (1) 社会福祉協議会支部活動の推進
- (2) 五地区敬老会の実施（市補助事業）

5 行政や地域福祉関係団体との連携

- (1) 防災計画への協力
- (2) 緊急時に備えた関係機関との連携

6 ボランティア活動等市民参画の促進

- (1) ボランティアの人材確保及び活動の推進
- (2) 介護ボランティア事業の推進（市委託事業）
- (3) 災害ボランティアセンター運営への取り組み

7 地域ぐるみ福祉の推進

- (1) 子育てサロンの推進
- (2) 高齢者の見守り活動への取組み
- (3) ふれあいいいききサロンの推進
- (4) 生活支援体制整備事業の推進（市委託事業）
- (5) 第5次地域福祉活動計画の評価

8 在宅福祉サービスの推進

- (1) 日常生活自立支援事業の推進（県社協委託事業）
- (2) 訪問介護事業・障害福祉サービス事業の推進
- (3) 在宅介護用具等貸出事業の推進
- (4) 住民参加型有料在宅福祉サービス事業「コスモスの会」の推進
- (5) 住民主体による訪問型サービスの推進（市補助事業）

9 各種資金貸付の推進

- (1) 生活福祉資金貸付（県社協委託事業）
- (2) 被保護者等緊急援護資金貸付（市委託事業）
- (3) 善意銀行資金貸付

10 施設運営

- (1) 福祉会館（地域福祉センター・福祉作業所）の管理・運営
(平成27～31年度)
- (2) 老人福祉センター「コスモス荘」の管理・運営（平成30～34年度）